

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
技術科長	善積 透（7月入職）
技術科参事	小西 康彦（7月から）
技術科長代理	飯塚 明寿
統括主幹	行 正剛
放射線治療担当主幹	前田 直子
救命救急撮影担当主幹	相良 健司
技術管理主査	中平 修司
情報管理主査	田原 大世
学術管理主査	西池 成章
被ばく管理主査	安永 桂介
主 査	長澤 毅
主 査	磯野 仁美（3月退職）
主 査	常玄 大輔
主 査	藤村 一郎
	山本 有佳理
	猪股 美紀
	株崎 律子
	早川 治男（3月退職）
	長谷川 勝俊
	酒井 徳生
	池本 達彦
	増田 慎吾
	伊東 大佑
	武部 優華
	梅木 拓哉（7月入職）
	鎌田 洸哉（1月入職）
	人西 健太（2月入職）
	熊谷 明修
	西村 悦子
	東 順也（3月退職）

—概要—

2018年度放射線技術科の目標。

- 1、緊急のカテーテル治療がすみやかに実施できる体制を目指す。
- 2、診療科の求める検査・撮影に積極的に対応する。
- 3、患者誤認の防止・撮影ミスによる再撮影の防止に取り組む。
- 4、放射線被曝管理を適切に行う。
- 5、予定入院患者の検査等が外来で実施できるよう関係部署と調整を行う。
- 6、当直2交代制勤務に向けての準備を行う。

当院は地域中核病院としての使命がある。我々はあらゆる場面に対応すべく、時間外は2名（救命救急・りんくう側）体制で当直を行っており、それ以上の緊急検査にはオンコールで対応している。より多くの人材と医療機器を常時稼

働できるよう研鑽に努めている。さらに、中央部門として多部署との関わりを持つため、各診療科や病棟との連携を強め、それぞれの要望に対応できるように努めている。

今後も、現在の環境下で誰もが最大限の成果と充実感を出せるような体制作りを今後も進めていく。

—実績—

＜装置稼働実績＞

中央放射線部のページに掲載のとおり。

＜施設認定＞

マンモグラフィ検診施設画像認定

＜研修・実習の受け入れ＞

救急撮影認定技師実地研修 診療放射線技師

清恵会第二医療専門学院 学生実習生の受け入れ

大阪物療大学 学生実習生の受け入れ

その他各学校からの見学と短期研修

—今年度の成果と反省点—

2018年度にりんくう総合医療センターでは機器更新の準備を開始した。更新機器としては、乳房撮影装置、X線CT装置、血管撮影装置の3部門の更新を予定しており、順次更新を行っていく。まず初めに本年度2月に乳房撮影装置がFPD撮影システムに更新となった。今後は各部門とも滞りなく更新の予定である。

政府主導の働き方改革を具体化するために、当直体制を2交代勤務にするために職員の増員を行ってきた。増員は行えているが、未だ十分な人員と新しいスタッフの教育が行えていない。次年度の課題である。

—来年度への抱負—

当直体制の完全なる交代勤務の実現。

休日の日勤、および当直時の3名体制の確立。

機器の速やかな更新と稼働。